

補欠選挙
(定数3)

日本共産党が 2 議席になれば・・・

市民の暮らし・福祉を守ります



しょうじゅうてつみ 正重哲美

議案提案権を獲得

定数の12分の1以上の議員数で、議案を提出できます。日本共産党が2議席になれば、市民のみなさんの要求を直接、議会に提案します。

会派として議運にも参加

三次市議会では1議席では、会派代表者会議、議会運営委員会(議運)に入れません。日本共産党が議運に入れば、市民の切実な要望や陳情書・意見書などの議論ができます。

私の決意

暮らしも平和も壊してしまう安倍自公政権のもと、地方自治体が政府の「下請け機関」でいいのかが問われています。
私は、住民の福祉を増進し、教育・子育てを応援する自治体本来の役割を果たせる三次市政の実現へ、日本共産党のモットーである「市民こそが主人公」を貫いて頑張ります。

三次市作木町香淀、70歳、農業
三次高校、岡山大学卒業、大阪府立高校教員、大阪教職員組合書記長、2009年定年退職

お 約

- 国保税の「均等割」を廃止して引き下げを求めます。
- 介護を支援する施策の充実をはかります。
- 学校給食の拡充を求めます。
- 安全な避難場所の設置に緊急にとりくみます。
- 農業、中小企業を支援します。
- 支所を充実させ、自治連への補助金増額を求めます。

財源はあります！

三次市はこの10年余り、「ためこみ金」(基金)を大幅に積み増しています。

- 財政調整基金 41億円
 - 地域福祉基金 7億円
 - 過疎地域自立促進基金 13億円
 - 介護給付費準備基金 10億円
 - 国保財政調整基金 7億円
- など32基金で167億円



(※) 財務省や財界は、基金の増加に目をつけ、地方交付税の削減を言い出しています。



三次市議会の定数24議席のうち、日本共産党は伊藤芳則議員1人だけ。1議席でも、抜群の実績です。

日本共産党は 1 議席でも...

国保税の値上げを抑制

高すぎて払えない国保の負担軽減を議会でも要求。ほかの市町が値上げを続けるなか、三次市は値上げを抑制させてきました。

豪雨災害被災者を支援

昨年7月の西日本豪雨では、床下浸水の世帯に3万円の見舞金の支給を実現。流出した宅地の復旧について50万円控除で3分の2の補助も実現しました。

三次市議会で
2 議席へ

消費税増税ノー!

9条改憲ストップ

「戦争する国づくり」

安倍政権が憲法9条に自衛隊を書き込めば、海外での自衛隊の武力行使が無制限に。災害復旧などでがんばる自衛隊員の若者を「殺し殺される」戦争に送り出してよいのでしょうか。

日本共産党の提案

憲法9条は、「二度と戦争しない」と誓った「世界の宝」。いま求められるのは、憲法を変えることなく、憲法を生かした平和な日本を築くことです。

増税中止の一点で共同を

家計を直撃し、暮らしも地域経済も破壊する10%への増税。深刻な消費不況で、「こんな経済情勢で増税を強行してもいいのか」という声があがっています。

日本共産党の提案

安倍政権が「増税の影響緩和」としてうちだしたポイント還元や「複数税率」は、混乱と不公平を招くだけです。

消費税増税中止こそ、最良の景気対策。日本共産党は10月からの増税中止の一点で共同を広げます。

暮らし・平和をこわす安倍政治に審判を

日本共産党をのばして

ウソとゴマカシの強権政治

暮らしに希望を、政治を変えよう!

安倍政権は、国民の多数が反対する悪法を「数の力」で次々と強行。沖縄の辺野古新基地建設では、県民投票で「反対」の民意は明らか。「原発ゼロ」の国民の願いにそむいて進める原発輸出は軒並み頓挫。おごれる安倍政治に審判をくだし、新しい政治に変えていくチャンスです。

三次地域で「市民と野党の共闘」が広がっています

安倍政権が2015年9月に強行した安保法制法案(戦争法)の廃止を求める意見書を、三次市議会は賛成13人、反対12人の僅少差で可決。三次地域では「安倍9条改憲NO! 広島県北行動」に多くの個人、団体が参加し、3000万署名運動をはじめ、毎月第1・3日曜日のゆめマート宣伝は100回を超えました。

安倍政権の「地方こわし」を許さず暮らしを守る地方自治体本来の姿へ

地方自治体が政府の「下請け機関」でいいのか、住民の福祉を増進し、いのちや暮らしを守る

る行政の責任を果たす自治体本来の姿を取り戻すのかが、いま問われています。

国の悪政を押し付けけるな

安倍政権は、この6年間で、社会保障費の「自然増」を1.6兆円も削減。さらに国保税、介護保険料や利用料の負担を押し付けようとしています。

住民が主人公の地方自治を

そして、「平成の大合併」で住民の声が行政や議会に届きにくくなっています。

日本共産党は、「住民が主人公」として尊重される地方自治の発揮を保障させるため、全力で頑張ります。

三次市で

給食調理場の再編は住民の声をよく聞いて

もののけ会館の建設では「見直し」の署名が6000筆も集まりました。学校給食調理場の再編計画では、保護者や給食関係者の声をていねいに聞き、住民合意ですすめるべきです。

米軍機の低空飛行の中止を

アメリカいなるの安倍政権のもと、米軍岩国基地に空母艦載機部隊が移駐して東アジア最大の航空基地となり、低空飛行が増加。低空飛行訓練の中止はもちろん、岩国基地の撤去を要求しましょう。

防災と被災者支援の抜本的強化へ

日本の各地で、地震、台風などの豪雨・暴風・高潮被害、火山噴火など、深刻な災害があいついでいます。

「災害列島」とも言われる日本で、従来の延長線上ではない防災対策の抜本的な強化が求められています。

日本共産党は、▽被災者生活支援金を当面500万円に引き上げ▽災害の危険を無視した開発行為の規制▽すべての住宅の耐震診断・耐震補強などを提案しています。

三次市で

安全な避難場所の設置を

昨年7月の西日本豪雨災害で、避難しようにも危険な避難所が各地に。日本共産党は、市が指定した避難場所をただちに再調査し、安全な避難場所を設置します。